

## 第2回豚熱対策本部会議

日時 令和6年6月20日（木）  
18時から  
場所 県庁12階 特別会議室

### 次 第

- 1 開会
- 2 議事
  - (1) 防疫対応について
  - (2) その他
- 3 閉会

## 本県における豚熱の発生及び防疫対応について

### 1 発生の概要

- (1) 所在地：九戸郡洋野町
- (2) 飼養状況：約 17,500 頭（繁殖豚：約 1,500 頭、肥育豚：約 11,000 頭、子豚：約 5,000 頭）

### 2 患畜確認の経緯

期日	時刻	内容
5/27 (月)	13:30	農場から県北家畜保健衛生所に、豚熱を疑う異常豚の発生について報告
	17:00	県北家畜保健衛生所が農場に立ち入りし、臨床症状を確認、検査材料を中央家畜保健衛生所へ搬入
5/28 (火)	5:00	中央家畜保健衛生所において、遺伝子検査（PCR 検査）を実施した結果、11 頭中 11 頭で陽性を確認
	11:00	国の検査機関で確定検査を実施
	20:00	国において、患畜と判定

### 3 本県の防疫対応等

#### (1) 経過

期日	時間	防疫措置
5/28 (火)	20:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豚熱対策本部の設置</li> <li>・発生農場に対し、飼養豚や生産物等の移動自粛、部外者の立入制限など、まん延防止措置の徹底を指示</li> </ul>
	21:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発生農場での殺処分を開始</li> </ul>
5/29 (水)	17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋却地の掘削を開始</li> </ul>
5/30 (木)	17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・殺処分した豚の埋却を開始</li> </ul>
6/17 (月)	14:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発生農場での殺処분을完了（殺処分した豚：19,780 頭※）</li> </ul>
6/18 (火)	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発生農場の消毒を開始</li> </ul>
6/20 (木)	15:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・殺処分した豚等の埋却を完了、発生農場の消毒（1回目）を完了</li> </ul>

※患畜判定後に生まれた子豚を含む

(2) 防疫措置等への従事者数等 ※6/20 時点

ア 県職員

延べ 4,157 人（防疫作業に直接従事した職員 延べ 3,050 人、地方支部において運営等に従事した職員 延べ 1,107 人）

イ 県外からの応援獣医師

延べ 104 人（29 道県及び国：北海道、青森県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、富山県、山梨県、岐阜県、静岡県、三重県、滋賀県、和歌山県、鳥取県、岡山県、広島県、山口県、香川県、高知県、福岡県、佐賀県、熊本県、鹿児島県、沖縄県、農林水産省動物検疫所、農林水産省動物医薬品検査所）

ウ 関係団体等の職員

延べ 1,466 人（洋野町 延べ 138 人、久慈市 延べ 2 人、JA 新いわて 延べ 126 人、岩手県建設業協会久慈支部 延べ約 1,200 人）

(3) 防疫措置への協力団体・企業

協力団体・企業	業務内容
洋野町	発生農場における消毒作業、集合施設・救護所の運営等
久慈市	救護所の運営
JA 新いわて	集合施設の運営等
(一社) 岩手県建設業協会久慈支部	殺処分した豚の埋却作業等
(公社) 岩手県トラック協会	防疫作業に使用する資機材等の運搬
(公社) 岩手県バス協会	防疫作業従事者を移送するためのバスの手配
(一社) 岩手県高圧ガス保安協会	豚の殺処分に必要な液化炭酸ガスの調達
(一社) 日本建設機械レンタル協会岩手支部	防疫作業に使用する資機材等の調達
岩手県動物薬品器材協会	防疫措置に必要な消毒薬等の資材の確保
株式会社ドコモビジネスソリューションズ	緊急対応用スマートフォンの提供（無償）
佐川急便株式会社北東北支店	防疫作業に使用する資機材の県外からの搬送

#### (4) 農林水産省からの支援

- ア 県との連絡調整のため、農林水産省職員をリエゾン派遣（畜産課に駐在 5月28日～30日）
- イ 発生原因調査のため、疫学調査チームが農場への立入調査を実施（5月29日）、現在、国において原因を分析中

#### 4 今後の対応

- (1) 発生農場において、家畜保健衛生所職員及び農場職員が消毒作業（2回目及び3回目）を行い、7月4日には発生農場での防疫作業は全て完了となる見込み
- (2) 県内の養豚農場に対し、ウイルスの侵入防止のための飼養衛生管理の徹底や、適切なワクチン接種などを継続するよう、あらゆる機会を捉えて注意喚起

①作業員農場入場（5月28日撮影）



②殺処分作業（5月28日撮影）



③埋却溝の掘削（5月29日撮影）



④埋却溝へのブルーシート敷設（5月30日撮影）



⑤殺処分した豚の埋却（5月30日撮影）



⑥消毒用資材（消石灰）の散布（6月1日撮影）



⑦埋却溝の覆土（6月18日撮影）



⑧農場の消毒（6月18日撮影）

